



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月30日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 東  
 コード番号 3353 URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)酒向 良弘 (TEL)059(226)1193  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 平成27年11月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	14,162	9.2	657	△0.7	700	4.6	503	17.4
27年2月期第2四半期	12,969	16.9	661	6.3	670	12.5	428	25.2

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 584百万円(12.6%) 27年2月期第2四半期 518百万円(72.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	262.52	—
27年2月期第2四半期	223.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	23,596	6,961	29.5
27年2月期	22,563	6,384	28.3

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 6,961百万円 27年2月期 6,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	30.00	—	37.50	67.50
28年2月期	—	32.50			
28年2月期(予想)			—	32.50	65.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	5.4	1,320	4.1	1,310	5.1	840	5.3	438.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期2Q	2,035,000株	27年2月期	2,035,000株
28年2月期2Q	118,917株	27年2月期	118,917株
28年2月期2Q	1,916,083株	27年2月期2Q	1,916,087株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、企業業績の回復が続き、所得・雇用環境にも改善傾向がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国経済の影響等により景気の先行きは不透明な状況が続いております。調剤薬局業界におきましては、ジェネリック医薬品の使用拡大を促進する施策がとられ、介護業界におきましては、平成27年4月から介護報酬の引下げが行われました。

このような状況の下で、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高14,162百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益657百万円(同0.7%減)、経常利益700百万円(同4.6%増)、四半期純利益503百万円(同17.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、既存店舗の売上高が伸長したことに加え、新規出店及びM&Aにより加わった店舗が寄与したこと等により増収となりました。この結果、売上高は11,264百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益861百万円(同14.3%増)となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、既存有料老人ホームの入居者確保に注力しました。また、前年度にグループ会社化した子会社や新規開設した有料老人ホームが寄与し、売上高は堅調に推移しました。収益面においては、新規開設にかかる初期費用の負担と介護報酬引下げが影響しました。この結果、売上高は2,138百万円(前年同期比21.0%増)、営業利益88百万円(同31.7%減)となりました。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中、積極的な営業活動により売上高は伸長しましたが、一方で、競合が激しさを増す事業環境が収益面に影響しました。この結果、売上高702百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益35百万円(同51.2%減)となりました。(内部売上を含む売上高は972百万円となり、前年同期比で9.8%増加しました。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高58百万円(前年同期比56.7%増)、営業利益28百万円(同2.5%増)となりました。

投資事業におきましては、有価証券売却損益171百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として290百万円を消去するとともに、全社における共通経費として357百万円を計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は23,596百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,033百万円増加いたしました。

流動資産の合計は10,035百万円となり、前連結会計年度末と比較して556百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加412百万円、売掛金の増加227百万円によるものです。

固定資産の合計は13,561百万円となり、前連結会計年度末と比較して476百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加396百万円によるものです。

負債合計は16,635百万円となり、前連結会計年度末と比較して457百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加570百万円によるものです。

純資産合計は6,961百万円となり、前連結会計年度末と比較して576百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益503百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は4,975百万円となり、前連結会計年度末と比較して410百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、581百万円(前年同期比50百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益869百万円、減価償却費300百万円があったものの、売上債権の増加204百万円、投資有価証券売却益171百万円、法人税等の支払288百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、611百万円(前年同期比271百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入407百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出555百万円、有形固定資産の取得による支出436百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、440百万円(前年同期比22百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の純増加565百万円、配当金の支払71百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月6日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が93,754千円減少し、利益剰余金が63,846千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,606,771	5,018,866
売掛金	3,189,145	3,416,719
商品	1,078,856	1,057,788
その他	604,776	543,255
貸倒引当金	△900	△1,000
流動資産合計	9,478,650	10,035,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,163,537	6,165,883
土地	2,766,758	2,800,593
その他(純額)	437,656	616,887
有形固定資産合計	9,367,951	9,583,364
無形固定資産		
のれん	965,186	952,335
その他	255,120	241,128
無形固定資産合計	1,220,306	1,193,464
投資その他の資産		
投資有価証券	1,219,229	1,616,015
敷金及び保証金	595,528	595,979
その他	681,769	572,403
投資その他の資産合計	2,496,527	2,784,397
固定資産合計	13,084,786	13,561,226
資産合計	22,563,436	23,596,855
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	11,818	10,900
買掛金	3,440,575	3,557,306
短期借入金	5,020	—
1年内返済予定の長期借入金	2,544,035	2,729,367
未払法人税等	329,989	389,724
賞与引当金	162,306	196,348
その他	998,253	818,258
流動負債合計	7,491,999	7,701,905
固定負債		
長期借入金	7,626,421	8,011,368
退職給付に係る負債	479,968	400,277
その他	580,277	522,158
固定負債合計	8,686,668	8,933,804
負債合計	16,178,667	16,635,710

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	4,621,228	5,116,248
自己株式	△199,317	△199,317
株主資本合計	6,175,961	6,670,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,000	304,965
退職給付に係る調整累計額	△31,192	△14,802
その他の包括利益累計額合計	208,807	290,163
純資産合計	6,384,768	6,961,144
負債純資産合計	22,563,436	23,596,855

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	12,969,599	14,162,378
売上原価	11,471,865	12,604,446
売上総利益	1,497,733	1,557,932
販売費及び一般管理費	835,993	900,917
営業利益	661,740	657,014
営業外収益		
受取利息	601	687
受取配当金	10,214	17,640
権利金収入	30,171	71,296
業務受託料	1,797	2,464
助成金収入	4,539	4,325
その他	13,048	6,864
営業外収益合計	60,373	103,278
営業外費用		
支払利息	44,046	47,327
その他	8,057	12,423
営業外費用合計	52,104	59,751
経常利益	670,009	700,541
特別利益		
固定資産売却益	955	45
投資有価証券売却益	62,790	172,348
負ののれん発生益	54,640	—
補助金収入	17,983	—
保険解約返戻金	22,024	—
特別利益合計	158,394	172,394
特別損失		
固定資産除却損	10,994	2,805
減損損失	10,427	—
固定資産圧縮損	17,751	—
投資有価証券売却損	—	771
役員退職慰労金	55,016	—
特別損失合計	94,190	3,576
税金等調整前四半期純利益	734,212	869,359
法人税、住民税及び事業税	375,195	376,705
法人税等調整額	△69,544	△10,372
法人税等合計	305,650	366,333
少数株主損益調整前四半期純利益	428,561	503,025
四半期純利益	428,561	503,025



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	428,561	503,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90,400	64,965
退職給付に係る調整額	—	16,390
その他の包括利益合計	90,400	81,356
四半期包括利益	518,962	584,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	518,962	584,382

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	734,212	869,359
減価償却費	260,358	300,771
減損損失	10,427	—
のれん償却額	57,317	62,340
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,680	32,839
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	38,132
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,340	—
受取利息及び受取配当金	△10,816	△18,328
支払利息	44,046	47,327
投資有価証券売却損益(△は益)	△62,790	△171,576
固定資産売却損益(△は益)	△955	△45
固定資産除却損	10,994	2,805
負ののれん発生益	△54,640	—
保険解約戻戻金	△22,024	—
売上債権の増減額(△は増加)	△105,531	△204,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△121,857	28,784
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,805	77,007
その他	176,436	△165,756
小計	888,392	899,021
利息及び配当金の受取額	10,645	18,142
利息の支払額	△43,999	△47,969
法人税等の支払額	△324,542	△288,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,496	581,097
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△371,694	△436,446
有形固定資産の売却による収入	1,561	125
無形固定資産の取得による支出	△21,638	△6,825
投資有価証券の取得による支出	△41,163	△555,021
投資有価証券の売却による収入	122,590	407,246
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△34,620
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	61,854	—
事業譲受による支出	△134,043	—
長期前払費用の取得による支出	△4,715	△1,188
敷金及び保証金の差入による支出	△41,705	△5,589
敷金及び保証金の回収による収入	15,356	4,796
預り金の増減額(△は減少)	24,855	31,562
その他	48,198	△15,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,545	△611,794

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	135,800	—
短期借入金の返済による支出	△333,332	△5,020
長期借入れによる収入	3,100,000	2,048,000
長期借入金の返済による支出	△2,099,504	△1,477,721
社債の償還による支出	△200,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△29,712	△47,413
自己株式の取得による支出	△52	—
配当金の支払額	△110,175	△71,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	463,022	440,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	652,973	410,294
現金及び現金同等物の期首残高	4,059,556	4,565,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,712,529	4,975,604

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,528,290	1,767,482	636,682	37,144	12,969,599	—	12,969,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	182	248,803	16,200	265,186	△265,186	—
計	10,528,290	1,767,665	885,485	53,344	13,234,785	△265,186	12,969,599
セグメント利益	754,004	129,667	72,593	28,199	984,464	△322,724	661,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△322,724千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用347,688千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,264,010	2,138,108	702,059	58,200	14,162,378	—	14,162,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,682	270,287	18,600	290,570	△290,570	—
計	11,264,010	2,139,791	972,346	76,800	14,452,949	△290,570	14,162,378
セグメント利益	861,716	88,516	35,399	28,909	1,014,541	△357,526	657,014

(注) 1 セグメント利益の調整額△357,526千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用384,491千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。